

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成25年4月1日発行 季刊
発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第23号

この「瓦ばん」を書いている今、三室山では、桜の季節になろうとしています。斑鳩に春が訪れようとしておりますが、皆様はどのような春を迎えておられますか。

斑鳩町3月定例議会において、平成25年度当初予算について、集中審議がなされたので、ご報告させていただきます。

まず、新しい事業についてですが、平成24年度までは1自治会あたり1年に2灯までしか設置できなかったLED防犯灯が、制限なく設置申請を町が受け付けるようになります。

これにより、自治会にも負担があった電気代が8Wの防犯灯であれば、ほとんど町の補助金でまかなえるようになるようです。

他に環境に対する施策として、住宅用太陽光発電システムの設置に対して、国の補助以外に町としても、1世帯あたり5万円の補助金が交付されるようになります。

また、家庭生ごみ減量化の促進として、生ごみ処理機及び処理容器等を購入する世帯に対し奨励金の拡充が図られますので、詳細は環境対策課までお問い合わせください。

次に、健康づくりの新しい施策として、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の助成を拡充し、70歳から行われていたものが、65歳からになり、1回限りであったのが、規定の間隔を空けていただければ、複数回でも助成の対象になることになりました。

また、妊娠中の健康管理を図るため、妊婦一般診断の助成回数を15回を維持しながら妊婦の歯周病疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、これらを予防するため、平成25年度から妊婦の歯周病疾患検査を行い、安心して出産できるように支援が始まります。

また、財政面の課題としては、国民健康保険の赤字を少なくするために、介護給付金の一般会計から繰り入れをここ数年毎年行っておりますが、それでも累積赤字が5億1千万円にまで膨らんできており、早期の抜本的な対策を採るように強く要望いたしました。

今年も財政の無駄を省き、未来に繋がるお金の使い道を考え、次の世代にツケを回さないように財政運営をチェックしていくことが大切という気持ちを忘れずに頑張ります。

これからも、いろいろな審議の結果を随時ご報告させていただきます。

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられます。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。